

歴史を彩るひとびと

～岡山の古代・中世～

— 平成8年度 特別展の開催にあたって —

館長 中力 昭

岡山県立博物館では、平成8年度特別展「歴史を彩るひとびと—岡山の古代・中世—」を平成8年10月19日（土）から11月17日（日）まで、約1ヶ月間にわたり開催することになりました。

岡山の地は、北は中国山脈、南は瀬戸内海に面し、温暖な気候風土に恵まれ、古代から吉備国として栄え、政治や文化などあらゆる分野で活躍し、我が国の歴史の一ページに名前を刻んだ人々を輩出いたしました。

当博物館では、これまで断片的には、これらの人々を取り上げ、その足跡をたどり展示公開してまいりましたが、本年度は岡山県立博物館が開館されて、26年目を迎えることになり、3年計画で総合的に岡山の歴史を彩った人々を紹介することといたしました。今年度は古代・中世の人々、平成9年度・10年度は近世の人々を紹介する予定で計画を進めています。

今回は①買地券・死亡人帳の人々。②都で活躍した人々。③平家物語の人々。④太平記の人々。⑤鎌倉仏教の人々。⑥日蓮門流をひろめた人々。⑦禅宗の人々。⑧新見荘の人々。⑨守護と守護代。⑩戦国の武将たち。⑪高松城水攻めをめぐる人々と11のテーマを設け、国宝・重要文化財等約40点を含む約200点の貴重な資料を展示し、先人の残した足跡を紹介することにいたしております。

なお、この期間中には、岡山市吉備津のご出身で、現在奈良大学の教授としてご活躍されております藤

井学先生に「鎌倉仏教と岡山」と題して、記念講演をお願いいたしております。多数の皆さんに御聴講いただけますよう御案内申し上げます。

終わりにになりましたが、今回の特別展への出品を快く御承諾くださいました所蔵者の方々をはじめ、御協力を賜りました関係の皆様様に心から御礼を申し上げますとともに、御来館を賜り、本展覧会への御感想、御意見をお寄せいただきますれば幸いです。



平成8年度特別展

「歴史を彩るひとびと — 岡山の古代・中世 —」

平成8年10月19日(土)～11月17日(日)

今年岡山県立博物館は開館26年目を迎えた。四半世紀を越えた最初の企画として、今年度から3年計画で岡山の歴史を彩った人々をまとめて紹介することにした。

今年度は古代・中世の人々、平成9年度、10年度に近世の人々を紹介する予定である。

1、買地券・死亡人帳の人々

買地券は死者のために地主神から墓地を買い、地主神の保護を求めるため、その趣旨を書いて土中に埋めたもの。備中国下道郡内で4点の発見例がある。「備中国大税負死亡人帳」(正倉院文書)は天平11年(739)死亡したため大税の返済義務を免除された人々を書き留めたもので、備中9郡のうち都宇郡・窪屋郡全部と賀夜郡の一部の記録が残る。

2、都で活躍した人々

吉備真備と和氣清麻呂は奈良時代の中央政界で活

躍した政治家であった。真備は備中の豪族下道氏の出身。大学で学んだ後、遣唐留学生として唐で学び、帰国後聖武天皇に重用され、後には右大臣になって政治の中枢を占めた。清麻呂は備前東部の豪族和氣氏の出。姉の広虫が孝謙・称徳天皇に重用されたところから政界に入り、皇位をねらった道鏡の野望を阻止したことで知られる。

3、平家物語の人々

平家一族の台頭から滅亡までを描く「平家物語」には、備前の難波経遠や備中の妹尾兼康など、備前・備中に本拠を置いた武士たちが登場する。「平家物語絵巻」(林原美術館)を中心に、源平合戦の時代に生きたひとびとを紹介する。

4、太平記の人々

南北朝の内乱を描いた「太平記」には、播磨の赤松円心や備前の児島高德・佐々木信胤、備中の新見・那須・三村・庄、美作の菅家・江見・渋谷など多数の武将たちの活躍が生き生きと描かれている。赤松円心・則祐、足利尊氏・直義・義詮などの画像や文書資料を中心に、鎌倉時代から室町時代への移行期の人々を紹介する。「陸波羅南北過去帳」(滋賀県蓮華寺)「観世音法楽和歌」(広島県浄土寺)などの重要文化財をはじめ、赤松円心画像などは初公開である。



国宝 紙本著色 法然上人絵伝 鎌倉時代 京都府 知恩院

5、鎌倉仏教の人々

わが国の宗教界に大きな足跡を残す美作の法然、備中の栄西と、東大寺再建にかかわり、県内各地に事蹟を残す重源を取り上げる。「法然上人絵伝」（国宝、知恩院）、「南無阿弥陀仏作善集」（重要文化財、東京大学史料編纂所）など必見の資料が多い。

6、日蓮門流をひろめた人々

初めて岡山に日蓮の教義を広めたのは南北朝時代の大覚であった。その後室町時代中期に、瀬戸内海を錫巡した日隆によって牛窓本蓮寺、宇多津本妙寺などが開かれた。中世末期、京都本国寺の日禎と浦伊部の豪商来住法悦とのつながりは、京都へ備前の高瀬舟を伝えた。京都妙顕寺の大覚関係資料や京都国立博物館の日禎画像など初見の資料が多い。

7、禅宗の人々

臨済宗永源寺派の開祖寂室元光は美作国高田（現勝山町）の出身。元光は中国留学の後、諸国を遍歴。永源寺をはじめ各地に寺院を開いた。画僧として知られる雪舟も備中出身の臨済宗の僧。

室町時代には、備中・美作地方へ実峰良秀とその門下によって曹洞宗が進出。矢掛町の洞松寺は備中地方における曹洞宗の中心をなした。やや遅れて古澗仁泉が法泉寺（井原市）を開いている。

滋賀県永源寺蔵の寂室元光の墨蹟「遺偈」ほかや雪舟の「山水図巻」「恵可断臂」（いずれも重要文化財）などを公開する。

8、新見荘の人々

新見荘は新見市付近にあった京都東寺領の荘園。現地の役人（三職）と東寺から派遣された代官によって管理された。「たまかき書状」（重要文化財）は現地へ赴任した代官祐清が農民に殺害された後、たまかきが祐清の遺品を求めたもの。たまかきは祐清の世話をするうち懇ろになった三職の一人福本の娘である。中世の地方女性の手になる手紙は珍しい。

9、守護と守護代

室町時代には、幕府は各国に守護を置いた。守護が職務代行者として任命したのが守護代である。守護が大名家化する一方で、より在地に近い守護代が勢力を蓄えて守護を滅ぼす例もあった。ここでは備前



岡山県指定重要文化財

絹本着色 宇喜多能家像 室町時代 岡山県立博物館

守護赤松氏と守護代浦上氏、美作守護尼子氏、備中守護細川氏などの資料を通してその動向を紹介する。

10、戦国時代の武将たち

備中の伊勢盛時と同一人物かといわれる北条早雲、備前・美作を掌握した宇喜多氏、備中の三村・細川氏などの関係資料を公開して、戦国期の備前・美作・備中の様子を紹介する。北条早雲画像（重要文化財）や宇喜多能家画像（岡山県指定重要文化財）、宇喜多基家所用甲冑、宇喜多秀家木像などを公開する。

11、高松城水攻めをめぐる人々

浦上氏の麾下にあった備前の宇喜多氏は直家の時、備前・美作・播磨の一部を領有するまでになった。直家は織田信長の勢力が西に伸びると初め毛利とともに織田の勢力に対抗したが、やがて信長と結んで毛利と対立した。信長配下の羽柴秀吉は直家の死後まもなく備中へ進出、高松城などにたてこもる毛利勢を包囲し、天正10年（1582）5月高松城を水攻めした。高松城主清水宗治と豊臣秀吉の関係資料を中心に、高松城水攻めをめぐる人々を紹介する。

主な展示資料

(●印は国宝、◎印は重要文化財、○印は県指定重要文化財を示す。)

1、買地券・死亡人帳の人々

○買地博 奈良
備中国大税負死亡人帳(複製)国立歴史民俗博物館

2、都で活躍した人々

◎下道圀勝圀依母夫人骨骸器 奈良 矢掛町圀勝寺
吉備大臣入唐絵巻(模本) やかげ郷土美術館
和気清麻呂画像 明治 和気町和気神社

3、平家物語の人々

平家物語絵巻 江戸 林原美術館
平家物語 江戸 岡山大学附属図書館

4、太平記の人々

◎陸波羅南北過去帳 南北朝 滋賀県蓮華寺
足利尊氏画像 江戸 神奈川県立歴史博物館
◎観世音法楽和歌 南北朝 広島県浄土寺
赤松円心画像 江戸 兵庫県法雲寺
◎藍葦威肩白腹巻 南北朝 牛窓町遍明院

5、鎌倉仏教の人々

●法然上人絵伝 卷37 鎌倉 京都府知恩院
法然上人画像 南北朝 大和文華館
○阿弥陀如来立像・摺仏 鎌倉 久米南町誕生寺
栄西画像 室町 京都府両足院
◎南無阿弥陀仏作善集 鎌倉 東京大学史料編纂所

6、日蓮門流をひろめた人々

◎大覚上人譲状 南北朝 京都府妙顕寺
日禎上人画像 安土桃山 京都国立博物館
日禎等連署一遍題目本尊 安土桃山

7、禅宗の人々

鈍庵和尚頂相 江戸 総社市宝福寺
○別峰大殊頂相 室町 岡山市松林寺
○寂室元光頂相 南北朝 高梁市頼久寺
◎寂室元光墨蹟(遺偈) 南北朝 滋賀県永源寺
◎寂室元光墨蹟(風攪飛泉詩) 南北朝 滋賀県永源寺
◎四季山水図巻 伝雪舟筆 室町 京都国立博物館
◎恵可断臂図 雪舟筆 室町 愛知県齊年寺

8、新見荘の人々

◎たまかき書状 室町 京都府立総合資料館
◎新見荘代官祐清注進状 室町 京都府立総合資料館

阿弥陀如来坐像(善成寺伝来) 平安 新見市

9、守護と守護代

赤松義則書状 室町 兵庫県松雲寺
赤松政則画像 江戸 京都府六道珍皇寺
赤松小判金 小田原小判金 室町 大蔵省造幣局博物館
尼子詮久判物 室町 落合町木山寺
○吉備津宮法楽連歌 室町 岡山市吉備津神社

10、戦国の武将たち

◎北条早雲画像 室町 神奈川県早雲寺
細川通董画像 江戸 鴨方町長川寺
毛利元就書状 室町 下関市立長府図書館
○宇喜多能家画像 室町 岡山県立博物館
宇喜多直家禁制札 室町 岡山市無量寿院
宇喜多秀家父子書状 江戸 岡山市教育委員会
○紅糸素懸銀箔押二枚胴具足 宇喜多基家所用
安土桃山 邑久町大賀島寺

11、高松城水攻めをめぐる人々

豊臣秀吉画像 江戸 神戸市立博物館
豊臣秀吉禁制 安土桃山 岡山市常楽寺
清水宗治自筆書状 安土桃山
光市文化センター保管

○大太刀秀幸 清水宗治奉納 室町
岡山市吉備津神社
毛利輝元感状 安土桃山 光市文化センター保管

記念講演会(聴講無料)

日時: 10月26日(土) 13:30~15:00

場所: 岡山県立博物館講堂

講師: 奈良大学教授 藤井学氏

演題: 「鎌倉仏教と岡山」

岡山県立博物館だより

No.47

発行日 平成8年10月1日

発行者 岡山県立博物館
館長 中力 昭
岡山市後楽園1-5
☎(086)272-1149